

2027年3月期 第1四半期決算短信（非連結） 補足資料

株式会社ヒップ[®]（証券コード：2136）

2026年 8月 5日



2027年3月期 第1四半期 外部環境と当期施策



外部環境

- ・製造業を中心とする主要顧客企業では、積極的な開発投資を継続。
- ・中東情勢の緊迫化や原材料・人件費の高騰を背景に、一部で慎重な姿勢も見られる。
- ・開発設計技術者の二ーズは全体では堅調なものの、業界や企業では差が生じている。

当期の取り組み

【事業全体の本質的な価値の向上を推進】

①価値観の共有 【組織の質を高める】	②技術者価値向上 【技術者の質を高める】	③顧客満足度の向上 【サービスの質を高める】	④コミュニケーション強化 【信頼関係を深める】
・価値観の共有 ・新人事制度の導入 ・組織文化への定着	・教育の刷新 ・求める人物像軸の採用 ・価値の高い業務領域への配属とローテーション	・お客様や社員を支えるため、現場の声に寄り添ったサポートの徹底	（2026年7月より開始） ・コーポレートコミュニケーション室を新設 ・正しく分かりやすい情報発信 ・双方向での対話を通じてステークホルダーと信頼構築

2027年3月期 第1四半期 決算概要

- 売上高は主に技術料金の上昇が寄与し前年同期から増加。
- 利益面は持続的成長に向けた「人への投資（教育強化・処遇改善等）」の継続や、サービスの本質的価値向上の取り組みを進め、前年同期比では減少。
- 売上面・利益面ともに概ね期初想定通りの推移。

	2026年3月期 第1四半期		2027年3月期 第1四半期		増減額	増減率
	(金額)	(構成比)	(金額)	(構成比)		
売上高	1,541	100.0%	1,573	100.0%	+32	+2.1%
営業利益	147	9.6%	130	8.3%	△17	△11.7%
経常利益	147	9.6%	137	8.7%	△10	△7.0%
四半期純利益	101	6.6%	93	5.9%	△8	△8.3%

2

各種指標について（前期比較）

- 技術者数・・・求める人物像を軸とした新卒採用とキャリア採用を推進。
- 稼働率・・・事業の本質的な価値を高める取り組みのなかで、技術者の成長と質の向上に重点をおいた配属を推進したことで前年同期からは低下。
- 技術料金・・・適正レート確保の交渉継続、顧客満足度を高める取り組み強化。
- 稼働時間・・・前年同期と概ね同水準で推移。

	2026年3月期 第1四半期		2027年3月期 第1四半期	前年同期比
	(金額)	(構成比)		
技術者数	802人		814人	+12人
稼働率	90.9%		89.8%	△1.1 p
技術料金	4,366円		4,495円	+129円
稼働時間	8.61H		8.59H	△0.02H

※技術料金（1時間当たり）=アウトソーシング事業 売上高/総稼働時間

3

稼働率（2025年4月～2026年6月）

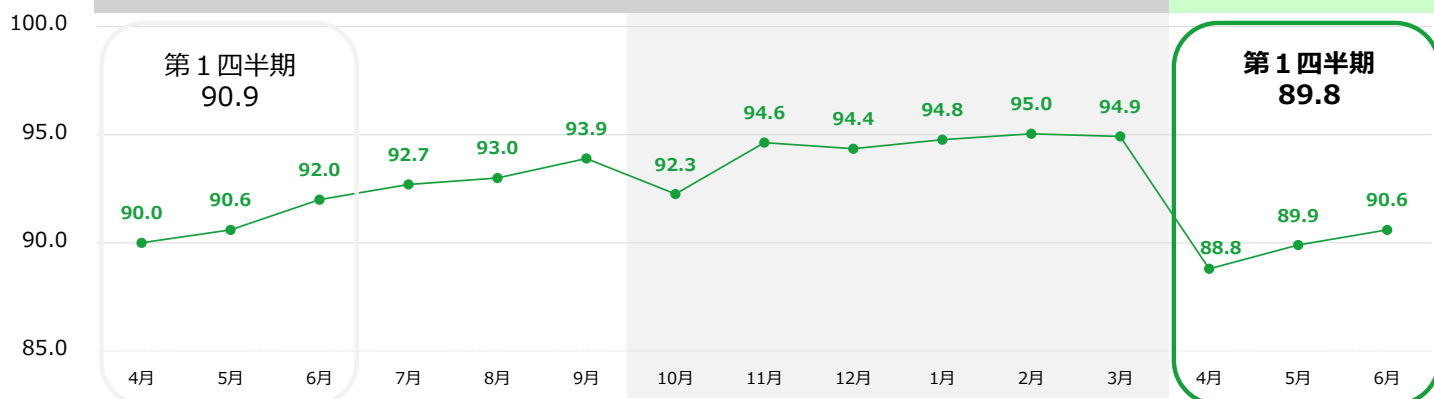
2027年3月期
第1四半期

89.8 %
(前年同期比 △1.1 p)

2026年3月期

通期：93.2（上半期：92.0 下半期：94.3）

2027年3月期



※稼働率(%) = 稼働技術者数 / 技術社員総数 * 100

本資料について

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2026年 8月 5日現在のデータ等に基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または、約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますので予めご了承ください。

お問合せ先

株式会社ヒップ コーポレートコミュニケーション室 IR担当
TEL: 045-328-1000 / E-mail: ir@hip-pro.co.jp
URL: <https://www.hip-pro.co.jp>